

第7期 事業計画

2015年9月1日～2016年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

1. 事業に関する方針

政府・行政(第一セクター)や企業(第二セクター)に比べて力量が乏しく分断されていたサードセクター組織が連携・協力し社会的存在感が小さかった日本のサードセクターの形成を目指します。ビジョンと活力あふれるサードセクターが加わることで、三つのセクターがそれぞれ適切な役割を果たす多元的な社会の実現することを目指します。設立時の理念の確かさを自覚し、下記に焦点を当て、事業を展開していきます。

- ・ 経営者の孤軍奮闘状況とセクター内部の縦割り構造の解消
- ・ 個々の非営利組織に求められている、自律的で成果を追求した経営力の向上
- ・ 公共サービス改革へのセクターとしての方針の表明と対応

サードセクター組織の経営者同士の横のつながりを強化

日本サードセクター経営者協会(以下、JACEVO)では、これまでにサードセクター組織の経営者を対象としたセミナーやシンポジウムの開催や、サードセクター組織を起業する方の創業支援を行ってきました。創業支援に関しては、これまでに 250 社以上の支援を行ってきました。法人形態や活動分野を超えて、サードセクターの様々な課題の解決や今後の展望を見据えて、サードセクター組織の経営者同士の横のつながりを強化するための機会を提供していきます。

起業家に対する経営サポートの継続

JACEVOがこれまで創業支援をしてきた起業家が創業初期にける経営の安定化をめざして、継続的にサポートを行っていきます。また、必要に応じて、JACEVOが育成したサードセクター組織コンサルタントとのマッチングを行います。

また、特に女性が地域や社会で活躍できるように、女性の就労・創業支援に力を入れていきます。そのために、まずは女性を対象とした創業スクールを開催します。

公共サービス改革とその担い手としてのサードセクターについての提言

政府・行政による公共サービスの民間開放が進んでいます。しかしながら、制度や規制により、参入の入り口の段階で、公共サービスの担い手が限定されるケースも多いのが現状です。公共サービスは、最も有効で効率的にサービスを提供できる主体が担い手となるべきであり、参入段階で規制すべきではありません。参入規制の緩和と対等な競争により、サードセクターがその良さを発揮し、公共サービスの担い手となっていく後押しをしていきます。

2. 運営に関する方針

東京事務局と東北から九州まで全国の連携先とのネットワークを活かしながら、日本全国でのサービス展開を図り、JACEVO の理念実現に向けて活動していきます。

II 事業計画

1. つなぐ事業

(1) 入会促進活動の実施

全国での活動を通じて、またその活動の成果を視覚化し、JACEVO としての魅力を高め、会員の輪を広げていきます。

期間: 通年

活動目標: 80 名 (現状は 67 名)

(2) 年次大会の実施

サードセクターを取り巻く環境の変化とその形成への躍動のために、会員のみならず広くサードセクターの経営者、関係者に対し、経営に関する先進的な成功事例とタイムリーな話題を踏まえたゲストスピーカーを国内外より招き、学びと意見交換と新たなつながりの機会を提供していきます。

期間: 年 1 回

活動目標: 参加者 50 名程度

(3) 部会活動の促進

会員同士の自発的な動きにより部会開催(テーマ別・地域別)を促していきます。とくに、これまでに JACEVO が起業支援をした全国の起業家が交流を通じて切磋琢磨できる場を提供していきます。

期間: 通年

活動目標: 5 つ以上の活動

(4) facebook、メルマガによる発信

多忙な経営者同士をつなぐために、互いの情報や、経営課題を意見交換できる機会を設けていきます。会員のみならず、サードセクターの形成、政府・行政セクターとサードセクターとの関係のあり方に関心をもつ専門家、研究者、政府・行政関係者、企

業に対しても、サードセクター組織の活動紹介や経営者の紹介、サードセクターの経営に関する情報、政府・行政への提言活動や制度や法律の改正などについて、タムリィーに情報を発信していきます。

期間: 通年

(5) HP の運営

JACEVO設立の趣旨と活動の本旨を伝えるためのHPの充実を図ります。またサードセクター組織の経営者の活動、その成果を動画を含めて発信していきます。

期間: 通年

2. 伸ばす事業

(1) サードセクター組織へのコンサルティング

個々のサードセクター組織の経営力強化のため、JACEVOおよびJACEVO認定コンサルタントによる、フロントライン組織への個別コンサルティングを実施します。

期間: 通年

活動目標: 50 団体へのコンサルティング

(2) サードセクター組織コンサルタント養成

個別組織に対しておこなうコンサルティングサービスはサードセクター組織の力量形成に不可欠であり、JACEVOとしてのコンサルタントの力量水準を確立させていきます。

期間: 後半

活動目標: JACEVO認定コンサルタント 10 名輩出

(3) 自主セミナーの開催

サードセクター組織の経営者が直面する課題を中心に捉えたセミナーを開催します。主な想定としては、公共サービス改革における契約改革、サードセクター組織の人材問題、労働問題などを考えています。

期間: 主に後半

活動目標: 参加者 50 名程度

(4) 講師派遣事業

サードセクター組織の経営、政府・行政とサードセクターの関係、サードセクターの法律、制度の関係などについて、政府・行政、企業、サードセクターに対し講師を派遣

します。

期間:通年

活動目標:年間5回

(5) 地域創業促進支援事業(中小企業庁)

東京都大田区において、創業希望者に対し、創業セミナーの開催及び創業に必要な財務・税務等の基本知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う創業スクール(女性起業家コース)を開催する。

期間:2015年7月～年12月

活動目標:創業セミナー参加者30名

創業スクール参加者30名

3. 提言する事業

(1) 公共サービス改革に向けての提言

自治体の公共サービス改革の取組みを調べ、サードセクター組織を含めた広範な主体が対等な競争のもとで、公共サービスの担い手となりうる環境整備について提言していきます。政府・行政とサードセクターとの関係の在り方、サードセクター組織のよさが発揮できる事業委託等の在り方、フルコストの把握と回収などについて提言していきます。

期間:通年

活動目標:政府・行政への提言

(2) サードセクター組織の支援の在り方に関する提言

サードセクター組織の力量拡大のために、営利組織と非営利組織が切磋琢磨し、優れた事業が展開できることを目指していきます。サードセクター組織を地域における雇用・サービスを生むイノベーションの主体として捉え、その活力溢れる活動によって社会貢献性と事業性のリターンを産み出し、地域の課題解決と地域経済の活性化の中心となるように、社会的に存在感のある組織を目指します。そのために、現在の中小企業に対する支援を営利・非営利問わず支援するように政府・行政に対し提言していきます。

期間:通年

活動目標:政府・行政への提言